

思考力を高める



理論と実践!

カイゼンドリル

元気経営 三浦 聡彦

第1回 ジャスト・イン・タイム

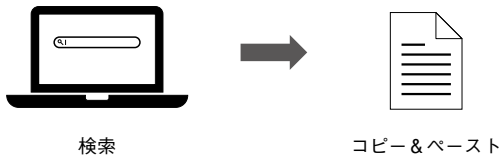
カイゼンで思考力を高める

便利になったスマートフォンで検索すれば、改善事例やトヨタ生産方式についての情報はカンタンに入手できる時代になりました。便利になったその一方で、若手社員の考える力、思考力が低下しているとの話を聞くことが増えています(図1)。いかに思考力を高め、それを仕事に活かし、カイゼン力を高め、現場力を上げていくかが問われています。

これからますますモノとインターネットがつながるIoTが現場に浸透し、AIの活用も進んでいくでしょう。そうになると、単純作業はロボットや業務自動化RPAに置き換えられる一方、人間にしかできない「判断する仕事」「自分で考える仕事」は、ますます重要性を増すはず(図2)。

それでは思考力を高めるにはどうしたらよいのでしょうか。カイゼン力を高めることは、思考力を高めることにつながります。改善は読んで字のごとく「善く改める」ことであり、「何を、どのようにより善く改めるか」を思考した後に、実際に変える「行動力」が伴います。そのためカイゼン力を高めることで、思考力の向上とともに、行動力も向上します。

図1 情報社会が思考力を低下させている一因に



自分の頭を使わずに、楽をすると思考力が低下することになりかねない

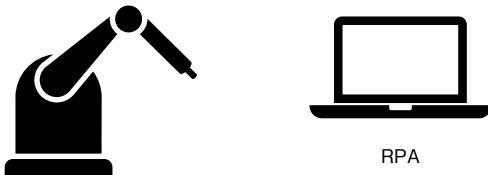
本号 基礎テーマのポイント

↓
演習問題

次号 演習問題の解答

図2 機械、コンピューターと人間の仕事

単純作業繰り返し作業はロボットやRPAに置き換わる



判断力が必要な仕事は人が行う



本連載では毎号基礎テーマに沿ってポイントを説明し、次回に向けた演習問題を提示します。どれも実際にカイゼンで使える事例ばかりです。解答は次号に掲載します。ぜひ自社、自職場でどのようにカイゼンするか、アイデアを考えてみてください。

本連載が思考力を高め、実践につなげることでカイゼン力を高める一助になれば幸いです。